

2011年度

科目名	英語の規則Ⅱ			
担当教員	溝口 健司			
配当	教福2		コード	14032
開期	通年	講時	月曜日4限	単位数 4
授業テーマ	現代英語における文法・語法の重要事項を生徒に明快に説明できる能力を養う。			
目的と概要	現代英語の文法・語法の知識を確実に身につけるだけでなく、その文法・語法事項を生徒に明快に説明できる能力を養う。具体的な授業の形式は「教師役が生徒役に教科書を利用して重要な文法・語法事項を説明し、生徒役から提出される質問に適切に答える」という模擬授業形式を採用する。「適切に」とは、生徒をごまかすことなく、十分納得できるように、整合性のある誠実な説明をするということである。			
成績評価法	不定期試験(60%)および発表・質疑応答などにおける発言の質・量(40%)によって評価する。			
テキスト	How English Works: Student Book with Key Pack / M. Swan & C. Walter / Oxford University Press			
参考書	オックスフォード実例現代英語用法辞典(第3版)/M. Swan/研究社 実例英文法(第4版)/A.J. Thomson & A.V. Martinet /オックスフォード大学出版局 現代英文法講義/安藤貞雄/開拓社			
履修に当た ての注意・助言 /準備学習	模擬授業では希望者が模擬教員を担当するが、参考書などを活用して周到な準備をする必要がある。また、 模擬生徒は積極的に質問を提出し、模擬教員の「安易な」応答・説明を許さないこと。			
講義計画				
1. オリエンテーション 2. 決定詞 1 3. 決定詞 2 4. 代名詞 5. 名詞 6. 形容詞 7. 副詞 8. 比較と程度 9. be/do/ have 10. 法助動詞 11. 未来表現 12. 現在時制 13. 完了と過去時制 14. 受動態 15. 前期総括 16. 動詞の補足部 17. 準動詞 1：不定詞 18. 準動詞 2：動名詞 19. 準動詞 3：分詞 20. 文構造 1 21. 文構造 2 22. 文構造 3 23. 接続詞 24. 話法 25. 仮定表現 26. 関係詞 1 27. 関係詞 2 28. 前置詞 29. 数と縮約 30. 後期総括				